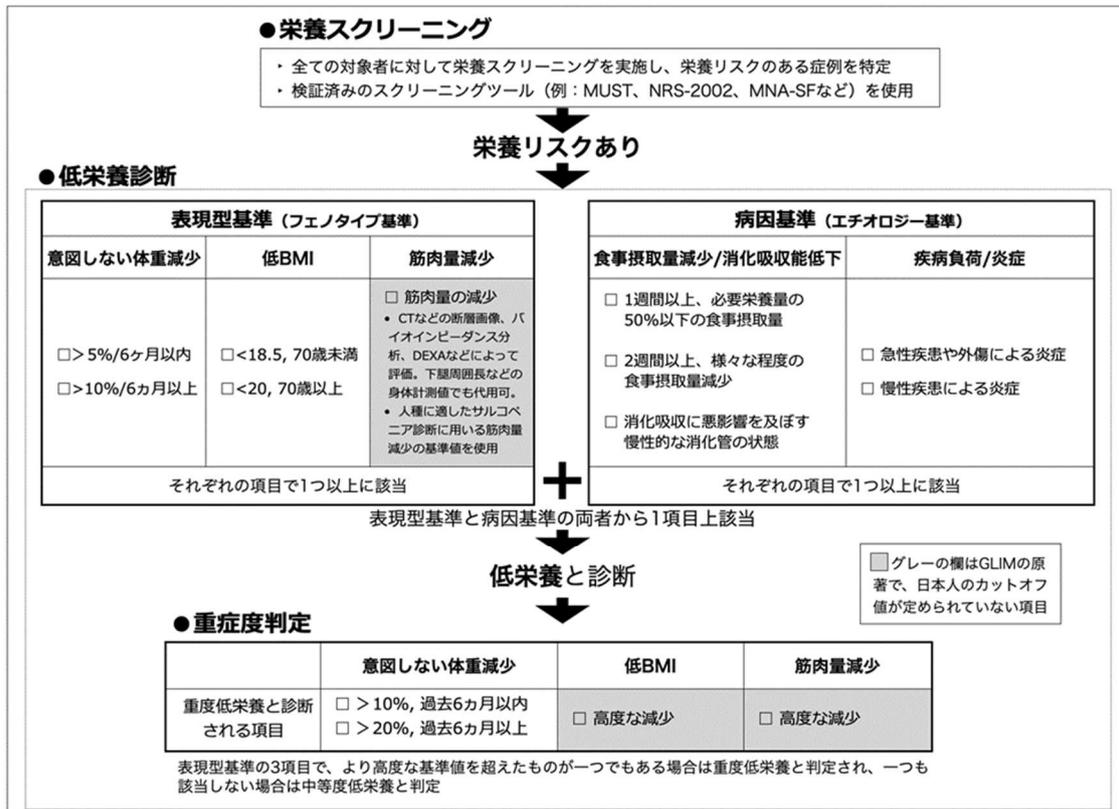


**リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算
及び地域包括医療病棟入院料に係る評価書**

バーセルインデックス (Barthel Index)

項目	点数	項目	点数
食事	10・5・0	歩行	15・10・5・0
車椅子からベッドへの移動	15・10・5・0	階段昇降	10・5・0
整容	5・0	着替え	10・5・0
トイレ動作	10・5・0	排便コントロール	10・5・0
入浴	5・0	排尿コントロール	10・5・0
		合計得点(/100点)	

栄養状態 栄養状態の評価は、GLIM 基準を用いて行う。



GLIM 基準による判定	<input type="checkbox"/> 低栄養非該当	<input type="checkbox"/> 低栄養 (<input type="checkbox"/> 中等度低栄養 <input type="checkbox"/> 重度低栄養)
---------------------	---------------------------------	---

※ 詳細については、日本臨床栄養代謝学会 (JSPEN) ホームページ「GLIM 基準について」を参照

口腔状態

項目	評価	
歯の汚れ	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
歯肉の腫れ、出血	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
左右両方の奥歯でしっかりかみしめられる	<input type="checkbox"/> できる	<input type="checkbox"/> できない
義歯の使用	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし

せん妄ハイリスク患者ケア加算に係るチェックリスト

(患者氏名) _____ 殿

入院日 : 令和 年 月 日

リスク因子確認日 : 令和 年 月 日

せん妄対策実施日 : 令和 年 月 日

1. せん妄のリスク因子の確認

(該当するものにチェック)

- 70 歳以上
- 脳器質的障害
- 認知症
- アルコール多飲
- せん妄の既往
- リスクとなる薬剤 (特にベンゾジアゼピン系薬剤) の使用
- 全身麻酔を要する手術後又はその予定があること



2. ハイリスク患者に対するせん妄対策

(リスク因子に 1 項目以上該当する場合は、以下の対応を実施)

- 認知機能低下に対する介入 (見当識の維持等)
- 脱水の治療・予防 (適切な補液と水分摂取)
- リスクとなる薬剤 (特にベンゾジアゼピン系薬剤) の漸減・中止
- 早期離床の取組
- 疼痛管理の強化 (痛みの客観的評価の併用等)
- 適切な睡眠管理 (非薬物的な入眠の促進等)
- 本人及び家族へのせん妄に関する情報提供



3. 早期発見

せん妄のハイリスク患者については、せん妄対策を実施した上で、定期的にせん妄の有無を確認し、早期発見に努める。

※ 1 せん妄のリスク因子の確認は入院前又は入院後 3 日以内に行う。

※ 2 せん妄対策はリスク因子の確認後速やかに行う。

リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算

及び地域包括医療病棟入院料に係る計画書

(患者氏名) _____ 殿

年 月 日

病棟 (病室)	
リハビリテーション (離床、ADL 動作、排泄に係る内容を含む)	
栄養管理 (栄養補給、栄養食事相談、その他の栄養管理上解決すべき課題に関する内容を含む)	
口腔管理 (口腔ケアに係る内容を含む)	
歯科医師等への連携の必要性	
その他	

担当者氏名

担当医	看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士